

## 山形県の古木・名木 No.140

# 愛染神社のシラカシ

山形市松原

このコーナーでは県内市町村のできるだけ多くの樹種の古木名木を紹介したいと考えています。今回は今まで登場したことのないシラカシの巨樹を紹介します。

シラカシはブナ科コナラ属の常緑高木で、福島県・新潟県以南の本州、四国、九州に自生し、照葉樹林の構成樹種です。シラカシは暖地系の樹木ですが、寒さには比較的強く、県内でも育つ常緑広葉樹としてあちこちに植えられ、社寺には古木が見られます。今回紹介するのは山形市松原にある愛染神社のシラカシです。入口の鳥居脇と境内の北側に1本ずつそびえています。実測したところ、鳥居脇の大きい方が目通り幹周421cm、小さい方が393cmで、樹高はどちらも20m以上あると思われる堂々たる巨樹です。樹形に欠損はなく、今なお旺盛な成長力を保っています。内陸の寒冷地である山形ではまれにみるシラカシの巨樹で、山形市の保存樹木に指定されています。愛染神社の境内には「オサヤジの種まき櫻」と呼ばれる山形市指定天然記念物のエドヒガンの古木もあります。一度見に行かれたらいかがでしょうか。。



〔森林やまがた 208号〕



